



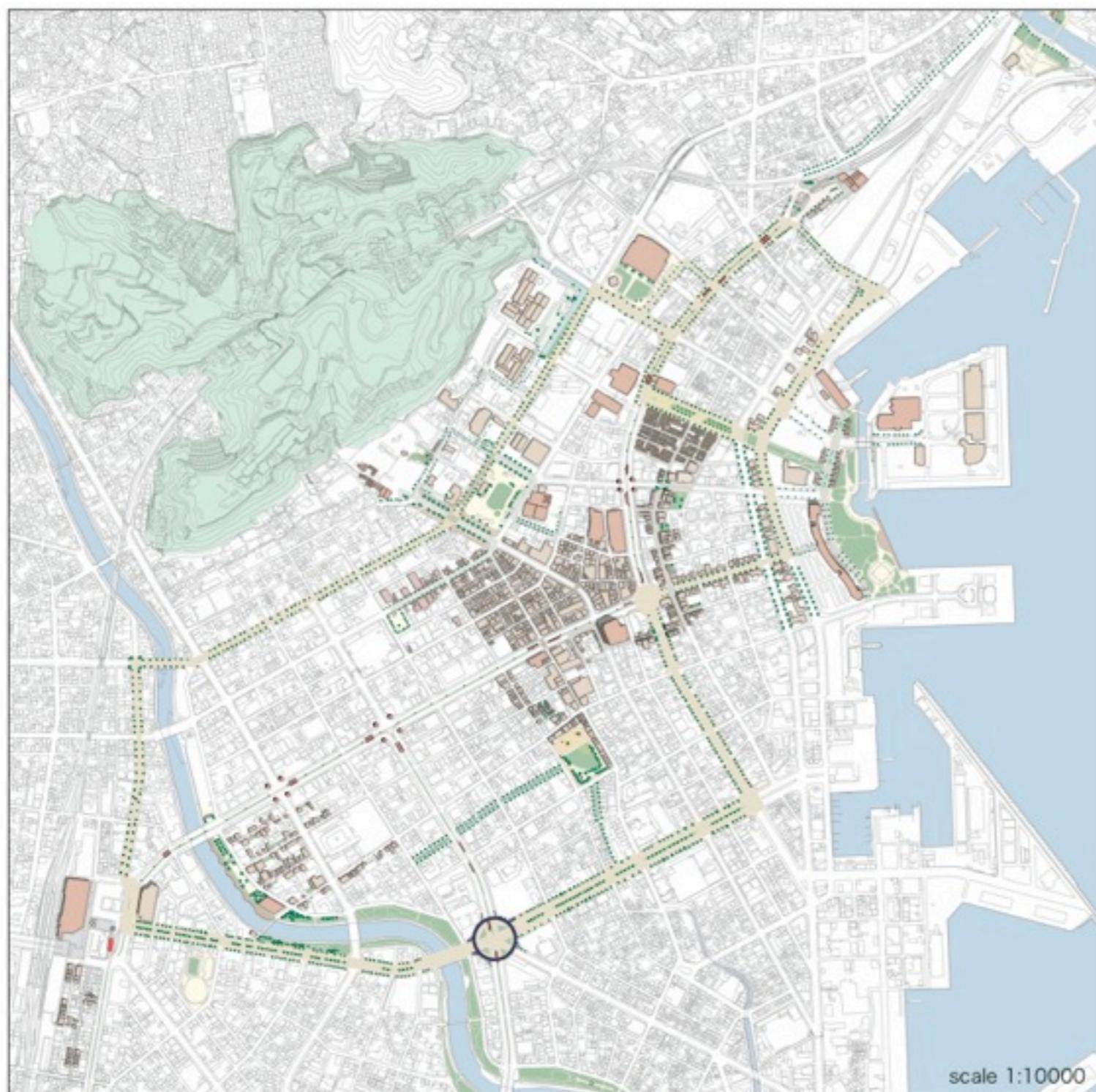
Kagoshima PJ



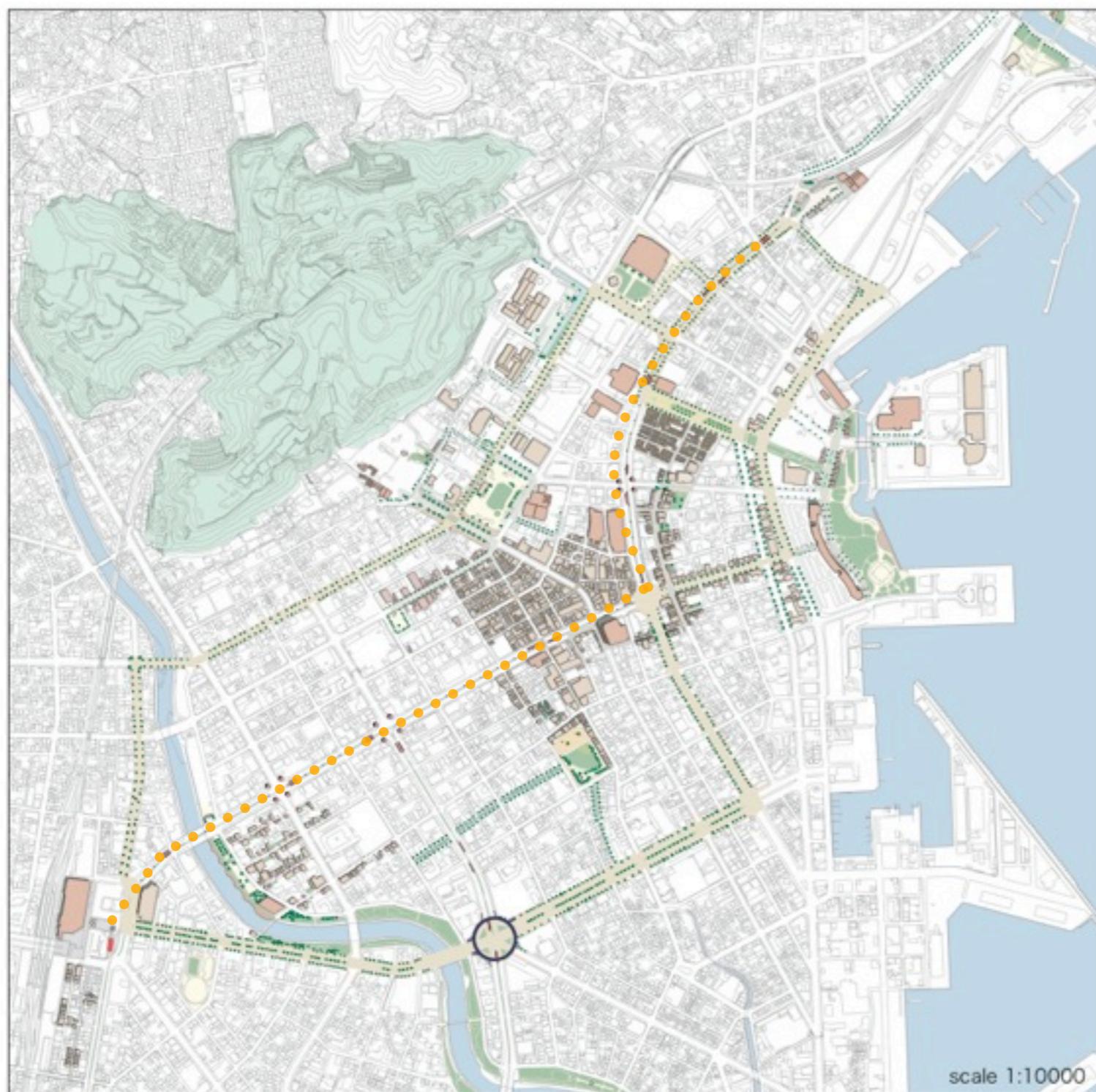
Toru Yamashige (M2)

Urban Design LAB.
School of Engineering,
Department of Urban Engineering
The University of Tokyo

■ 鹿児島市中心市街地



■ 鹿児島市中心市街地



対象地区

■ 鹿児島市中心市街地



対象地区

■ 鹿児島市中心市街地



去年度の活動

■ 中心市街地衰退の危惧

- ・ 大規模商業施設の乱立
- ・ 天文館商店街小売総額減少
- ・ JR九州新幹線全線開通による他県へのストロー効果

■ 固定された観光客の回遊ルート

- ・ 鹿児島中央駅—天文館商店街—ウォーターフロント
- ・ 豊富な自然、歴史観光資源の存在

‘点’として独立する既存の資源の接続
新たな空間、システム提案による
観光客および住民の回遊性向上が急務

去年度の活動

■ 他大学学生との合同調査

東京大学

鹿児島国際大学

‘よそもの’の視点

地元住民の視点

去年度の活動

■ 他大学学生との合同調査

東京大学

‘よそもの’の視点

鹿児島国際大学

地元住民の視点



去年度の活動

■ 他大学学生との合同調査

東京大学

鹿児島国際大学

‘よそもの’の視点

地元住民の視点



去年度の活動

■ 他大学学生との合同調査

東京大学

鹿児島国際大学

‘よそもの’の視点

地元住民の視点



65の提案

1. 新たなスポットを埋め込む
2. 既存の空間を資源化する
3. 場所をつなぐ・まちがつながる
4. 歩く楽しみを増やす・まちをもっと知る



アーバンステーション・カゴシマ@
01

写真は台北市

市民同士、市民と観光客、観光客同士の出会い・交流を誘発する仕掛けとして、空き家・空き店舗・空き倉庫・空き部屋を活用したアーバンステーション・カゴシマ@ (以下、USK_@) を提案する。USK_とは、地域住民や来訪者等の様々なニーズを踏まえた交流機能を備えた施設であると同時に、交流を通じてまちの活性化の役割を担う、汎用性の高い公共空間である。

@は、各ステーションが有する特徴的な機能やそれが位置する地区の名称を示す。USK_G (ギャラリー) やUSK_P (映像展示)、USK_上町、といったように、個性的なステーションをまるなかに点在させる。現在の空き店舗や倉庫の潜在価値を見いだす提案である。自転車ポートの位置と関連させながら整備することで、USK は回遊の起点となるだけでなく、回遊行為をつなぐ役割を担う。まさしく、まちなかの「駅」となるだろう。

USK はまた、地域コミュニティや学校 (大学) が積極的に関与することで、市民や子どもたち、学生にとって創造的な空気に触れることのできる身近な空間となることが望まれる。「そこにいけば何が分かる、そこにいけば誰かがいる、何かが楽しめる」空間を既存のまちなかに取り組みしていくことは、新たな回遊行動を生み出す上で欠かせないアクションである。

歴史的建造物を、ミーティング・ポイントを開いたカフェとしてリノベーションする事例も多く見られる (写真 © 〇〇社)

USK_G (G)

USK_P (P)

USK_上町

USK_として再生された空き家や空き倉庫、空き部屋を、回遊行動やまちの活性化の要請に応じて、様々な用途に活用していくことが考えられる。

秋賀の館 (香川県丸亀市)

2002年に閉鎖された丸亀市のまちの駅 (地域内交流、地域間連携の役割を担う公共空間)。もともと、鉄道を扱う「物産商店」が営む歴史的文化的建造物であったが、廃駅と同時に閉鎖された。しかし、歴史的建造物の保存と丸亀の情報発信基地や観光客の休憩所としての活用、および周辺の旧市街地の活性化を目的として丸亀 TMO 推進協議会により活用されることになった。主にギャラリー、会議室、集客室、文化ホール、そしてこデイサービスとして利用されている。

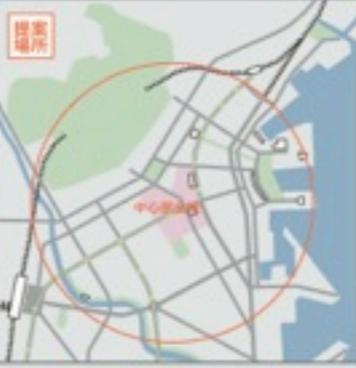
(出典: <http://www.marugame.or.jp/imo/kitora.html>)

■ USKによる社会実験

アーバンステーション・カゴシマ@01



写真は台北市



info 検索

交遊 777+837+ シンボル

歴史 文 快 巡 景 販

04 30 31

市民同士、市民と観光客、観光客同士の出会い・交流を誘発する仕掛けとして、空き家・空き店舗・空き倉庫・空き部屋を活用したアーバンステーション・カゴシマ@（以下、USK@）を提案する。USKとは、地域住民や来訪者等の様々なニーズを踏まえた交流機能を備えた施設であると同時に、交流を通じてまちの活性化の役割を担う、汎用性の高い公共空間である。

@は、各ステーションが有する特徴的な機能やそれが位置する地区の名称を示す。USK_G（ギャラリー）やUSK_P（映像展示）、USK_上町、といったように、暫時的なステーションをまちなかに点在させる。現在の空き店舗や倉庫の潜在価値を見いだす提案である。自転車ポートの位置と関連させながら整備することで、USKは回遊の起点となるだけでなく、回遊行為をつなぐ役割を担う。まさしく、まちなかの「駅」となるだろう。

USKはまた、地域コミュニティや学校（大学）が積極的に関与することで、市民や子どもたち、学生にとって創造的な空気に触れることのできる身近な空間となることが望まれる。「そこにいけば何かが分かる、そこにいけば誰かがいる、何かが楽しめる」空間を既存のまちなかに散りばめていくことは、新たな回遊行動を生み出す上で欠かせないアクションである。

秋葉の館（香川県丸亀市）

2002年に開設された丸亀平のまちの駅（地域内交流、地域間連携の役割を担う公共空間）。もともと、駅を取り囲む「山崎商店」が営業する歴史的建造物であったが、駅と同時に変更された。しかし、歴史的建造物の保存と丸亀の情報発信基地や観光客の休憩所としての活用、および周辺の旧市街地の活性化を目的として丸亀TMO推進協議会により活用されることとなった。主にギャラリー、会議室、集会所、文化教室、そしてミニサービスとして利用されている。

出典：http://www.manugame.or.jp/imo/siktora.html



・新たな回遊ルートの拠点
・住民、観光客の交流の場



サイクリングロードからの動線

内側に引き込む USK

外周をつなげる USK

scale 1:10000

今年度の活動

■スケジュール

- 6/4-8: 第一回現地調査(USK設置対象地の選定。。。)
- 8/16-22: 第二回現地調査(掃除及び改装計画完成。。。)
- 10/30-11/5: 第三回現地調査(おはら祭りに合わせた社会実験)

■次回MTG

- 5/11, 18:00-@出口教授室: USKのソフトについての話し合い